

● 世界の主な地震

令和 4 年（2022 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

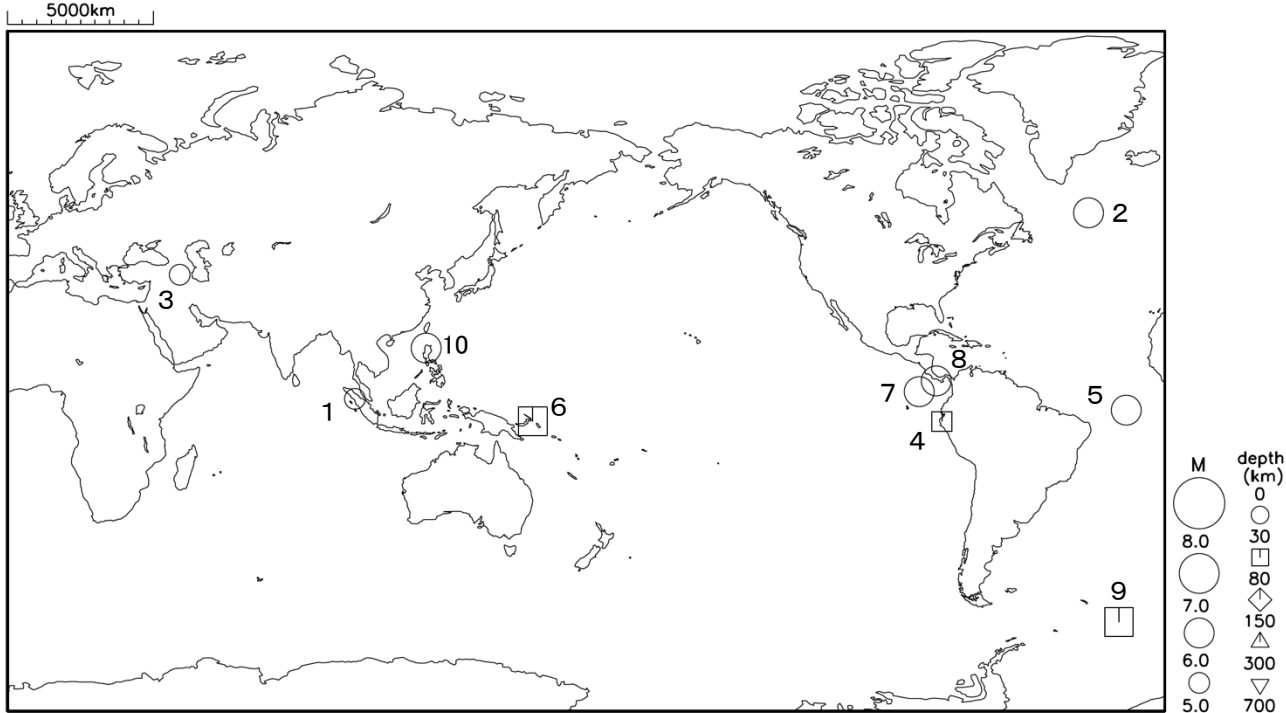


図 1 令和 4 年（2022 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 4 年（2022 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	10月01日04時28分	N 2° 07. 6′	E 98° 54. 0′	18			5. 9	インドネシア、スマトラ北部	少なくとも死者 1 人など		
2	10月01日10時18分	N53° 42. 2′	W 35° 30. 3′	10			6. 0	レイキャネス海嶺			
3	10月05日09時21分	N38° 30. 3′	E 45° 01. 6′	15			5. 7 _G	イラン－アルメニア－アゼルバイジャン国境	負傷者 1, 127 人など		
4	10月05日17時26分	S 4° 52. 4′	W 80° 36. 5′	35			5. 8	ペルー－エクアドル国境	少なくとも死者 1 人など		
5	10月10日01時38分	S 1° 21. 8′	W 23° 54. 2′	10			6. 2	大西洋中央海嶺中部			
6	10月14日07時20分	S 4° 48. 7′	E153° 35. 4′	72			6. 4	バブアニューギニア、ニューアイルランド			
7	10月16日21時48分	N 4° 21. 5′	W 87° 34. 0′	15			6. 3	中央アメリカ沖			
8	10月20日20時57分	N 7° 40. 2′	W 82° 20. 3′	10			6. 7	パナマ南方			
9	10月25日09時13分	S58° 45. 3′	W 26° 11. 5′	78			6. 3	サウスサンドウィッチ諸島			
10	10月25日23時59分	N17° 39. 8′	E120° 48. 8′	14			(6. 5)	フィリピン諸島、ルソン	負傷者 44 人など	○	

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2022 年 11 月 7 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による (25 日のフィリピン諸島、ルソンの地震については速報値)。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所、2022 年 11 月 7 日現在)、国内は総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

10月5日 イランーアルメニアーアゼルバイジャン国境の地震

2022年10月5日09時21分（日本時間、以下同じ）にイランーアルメニアーアゼルバイジャン国境の深さ15kmでMw5.7の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は北北西ー南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により負傷者1,127人、建物全壊112棟などの被害が生じた。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2011年10月23日にはMw7.2の地震が発生し、この地震により死者604人などの被害が生じた。また、最近では、2020年2月23日にMw5.8、同24日にMw6.0の地震が発生し、これらの地震により死者9人などの被害が生じた。

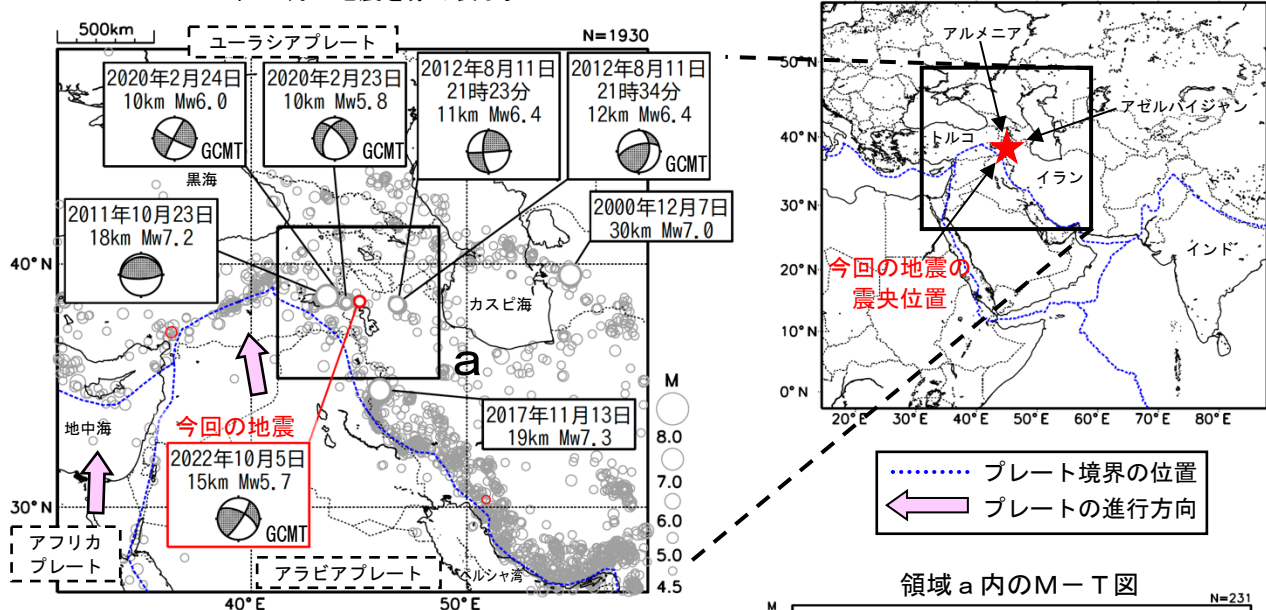
1970年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。今回の地震の震央付近では、1976年11月24日にMw7.0の地震が発生し、死者3,900人などの被害が生じた。

震央分布図

（2000年1月1日～2022年10月31日、

深さ0～100km、M≥4.5）

2022年10月の地震を赤く表示。

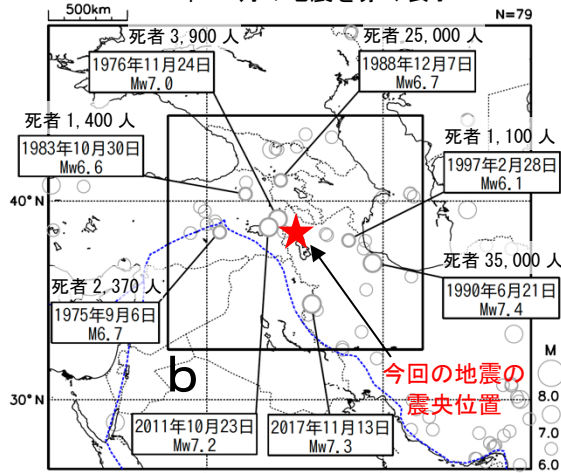


震央分布図

（1970年1月1日～2022年10月31日、

深さ0～100km、M≥6.0）

2022年10月の地震を赤く表示



今回の地震、M7.0以上の地震及び死者1,000人以上の地震に吹き出しを付加

※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年11月7日現在）。ただし、発震機構とMwは、2011年10月23日の地震、2012年8月11日21時23分の地震及び2017年11月13日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。今回の地震及び2020年2月23日、24日の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2022年10月18日現在）、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.